大成学園いなだこども園

絵本といっしょ

～手に届くところに本を～



子どもと保護者への読書推進活動

幼児期における
読書や読み聞かせの
効果を知っていますか？



　大成学園いなだこども園では、本園の教育・保育目標にある「豊かな表現ができる子」の育成を図ることを目標に、発達段階に応じた絵本や図書との関わり方を年間指導計画に入れ、子どもと保護者への読書推進活動に取り組んでいます。

　幼児期における本とのふれあいは、想像力や感性が磨かれ、知識や語彙力の向上により、コミュニケーション能力も発達します。

　園や家庭内で読み聞かせを行うことによって、読書習慣をつけ、心豊かでたくましい子を育成していきます。



大成学園いなだこども園
園長　青木　早苗



読書習慣の形成のために【３つの柱】

園児

「絵本は友達プラン」

○１日の園生活の中で３回、読み聞かせや読書の時間をとり、園児と職員とのふれあいや、落ち着いた時間を作っています。
○保育室や廊下に図書コーナーを設置し、自由遊びや読み聞かせ時間に園児が自分で本を選びやすい工夫をしています。
○就学後のGIGAスクールを前にタブレットの練習として、以上児からは電子書籍の閲覧も行い、興味や関心を引き出します。



保護者

「手が届くところに
絵本をプラン」

○園から読み聞かせの推進活動として、園だよりでの読書週間の紹介や、家庭教育学級での大人のための読み聞かせ会を実施します。
○保育教諭が保育参加等で読み聞かせを行い、一緒に体験することで、家庭での読み聞かせに役立てて頂きます。
○どの家庭にも新しい本が手に届く場所、暮らしの中に絵本があるようにする為に、月刊絵本を１冊各家庭に配布し、また行事のごほうびとして絵本のプレゼントを行います。



保育者

「絵本と出会う
環境を作ろうプラン」

○園長及び絵本担当職員が四季折々の各年齢に合わせた選書や本と触れ合える図書コーナーの環境作りなどの園内研修を行います。
○図書館の読み聞かせ研修等の外部研修にも積極的に参加し、絵本をきっかけに遊びや活動へ発展させる指導方法を学びます。
○職員会議やクラス会議で話し合い、園児や保護者が一緒に本に触れ合える環境づくりをサポートします。



園児が本と親しむ為の教育・保育活動



朝・午睡前の読み聞かせ





自由遊びでの図書コーナーの活用



月１回の読み聞かせ教室



電子図書閲覧

読書推進活動例：家庭教育学級での「保護者への読み聞かせ会」

令和４年度　家庭教育学級
　読み聞かせボランティア
　「アイアイ」さんによる保護者読み聞かせ会



保護者アンケートより

・久しぶりに読み聞かせを聞いた。すごくよかった。
・子どもの好きな絵本の選び方がわかった。
・音楽をかけながら行なってみたい。
・家にあるもので小道具ができるのがわかった。



効果：保護者が実際に読み聞かせを体験することで、絵本を目と耳で楽しむ事を実感し、家庭での取組につながった。

読書推進活動での効果



園児

読み聞かせを続けることによって、園児の選書も偏ったものではなく、様々なジャンルから選べるようになったと思います。

言葉の発達と共に、コミュニケーション能力が発達し、自分の趣向ではなく、人に読んであげたい、勧めたい、みんなで読みたい本を選び、友達に読み聞かせてあげられるようになったので驚きました。

新たに配架したピカピカの本を読み聞かせするときは、本の世界から知識を学べる期待と好奇心に溢れ、読書への関心が増していると思います。

（５歳児担任）

保護者

こども園からの帰りに、図書コーナーで読み聞かせをねだるようになりました。絵本を選ぶ姿も楽しそうで、親としても嬉しくなります。うちでも読んであげています。

（２歳児保護者）

忙しい毎日の中、読み聞かせの時間はなかなか作ってあげられませんでしたが、園から絵本をもらってくるので、テーブルの上に出ていると、読んであげやすいです。絵本助かっています。

（３歳児保護者）



図書館に行こう！

本園は読書活動の推進のため、公立図書館と交流しています。

毎月の図書館だよりの配布の他、図書館内にあるギャラリーで、年１回園児の作品や写真展示を行い、ご家庭での図書館利用の機会作りをしています。

図書館にある、たくさんの資料は園児にとって宝の山です。ぜひ図書館に行き、自分の貸し出しカードで本を借りる習慣をつけましょう！



子どもの豊かな発達のために
私たちは読書を推進します。



大成学園いなだこども園